

京都工芸繊維大学「英語鍛え上げプログラム」

The Most Demanding English Program in Japan (KIT MODEP-J)

日本一要求度の高い英語プログラム



本学は全国37大学の一つとしてスーパーグローバル大学創成支援事業に採択され、我が国の高等教育の国際競争力向上をリードするという重責を担っています。今後、教育研究における海外大学との連携強化、海外インターンシップ参加率の飛躍的向上などを目指して事業を進めるための基盤となるのは、確かな英語力です。一部の選ばれた学生ではなく、すべての学生に、通常の授業を通して目に見える上達を保証するために「英語鍛え上げプログラム」を企画しました。平成28年度には、必修単位の増加を含む抜本的な英語カリキュラム改訂を行い、着実な成果が上がりつつあります。

「KIT 英語鍛え上げプログラム」の目標

学部1・2年生を対象として、授業準備、課題、テストなどに関する要求度がきわめて高い(大量の学習時間を要する)授業を全科目・全クラスで展開することにより：

- ・全学生に大量のインプット(読んで聴くこと)を保証し、実質的な上達を確実にする
- ・「上達した！」という実感によって学習意欲を高める
- ・3年次以降の自律的学習につながる学習法と学習習慣を定着させる



科目構成と一斉テスト

2年次

後期終了時
TOEIC 団体受験

前期終了時
TOEIC 団体受験

Career English [必修]

TOEIC、TOEFL 等の外部テストを指標として、高度で柔軟な英語運用能力を養います。

Basic、Intermediate、Advanced と積み上げ式に展開しています。目標スコア達成者は履修免除

ADVANCED

目標：TOEIC730レベル突破

INTERMEDIATE

目標：TOEIC630レベル突破

BASIC

目標：外部テスト受験に向けた集中的な学習方法を体得

Active English [選択]

英語を積極的に「使う」ことを通して実践的運用能力のさらなる向上を図ります。科学的手法、環境学、文学などを英語で学ぶ CLIL (内容言語統合学習)、「ロボットを作る」「ウェブサイトを開発する」等の企画達成に向けたリサーチやコミュニケーションを英語で行う Project-Based Learning、特定のスキルに焦点をあてる Reading、Writing、Listening & Speaking 等があります。

Academic English [必修]

学術的な場面で英語を使うための基礎を固めます。時事に関するニュースや海外大学の講義を視聴することを通して、世界情勢や異文化理解を深め、メディアリテラシーを養います。

Interactive English [必修]

多様な場面で円滑な口頭のコミュニケーションができるようになることを目的とする会話中心の科目です。スカイプを介した海外とのコミュニケーションも取り入れられます。



「TOEIC730」は企業の人事担当者から見た選考分岐点の一つと言われ、近年は多くの企業が新卒者にこのレベルの英語力を求めるようになっています。

本学独自の工夫

本学独自のコンピュータ方式 (CBT) スピーキングテスト

KIT Speaking Test: English for the 21st Centuryでは、リンガフランカ(国際共通語)としての英語を使いこなし、21世紀型スキルを発揮して、与えられた課題を達成する能力が測られます。スコアは1年間の学習成果の一部とみなされ、**Interactive Englishの成績に組み込まれます**。



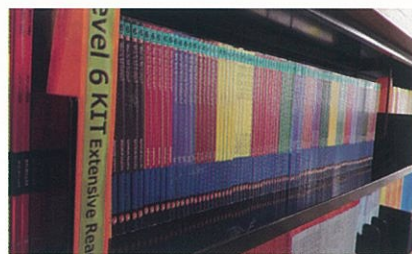
毎授業に組み込まれる e-learning 課題

インプット(読む・聴く)の量を補い、語彙・文法の基礎固めをするために、Academic Express 2 という e-learning システムを用いて、リーディング・リスニング・文法の課題が、長期休業中も含めて毎週出されます。課題の達成度は、**Career EnglishとAcademic Englishの成績に組み込まれます**。2016 年度の利用率は 97.3%、課題達成率は 88.8% でした。



読書量の累積が成績に加味される Extensive Reading (多読) プログラム

図書館に多読用の英語図書を配架しています(2016 年度末で約 7000 冊)。M-Reader という多読プログラム専用サイトを用いて、学生の読書量を集中管理しています。学期中だけでなく長期休業中にも、各学生の読書量が読んだ総語数に基づいて累積され、**Interactive EnglishとActive Englishの成績に組み込まれます**。2016 年度前期には、Interactive English 受講生の 94.3% が満点の基準(80,000 words)を達成しました。後期には、91.3% が満点の基準(100,000 words)を達成しました。



海外英語研修

英国リーズ大学(夏休み5週間)、豪州クイーンズランド大学(春休み5週間)、フィリピンセブ島QQEnglish(1~2週間)を実施しています。徹底した事前・事後研修を行い、現地滞在中に出席・成績等の基準を満たした学生には、言語教育科目として**1~2単位を認定します**。



特別企画セミナー

大規模セミナー: 外部講師を招いて英語プレゼンワークショップ、レベル別TOEIC集中セミナーなど70~100名規模のセミナーを定期的実施しています。

小規模セミナー: 語学単位取得済の上級者を対象とする特別授業、英語が苦手な学生のニーズに答えるリメディアルクラス、英語を使って活躍する先輩(企業勤務の研究者等)を招いた情報交換セミナーなど10~20名の学生を対象に、英語に関するピンポイント的な要望に応えるセミナーを実施しています。



特色のある取り組み

どのように demanding なのか？

■ 膨大な課題

非常勤講師が担当するものも含めて、全科目・全クラスについて、毎授業に大量の課題を課し、次の授業で提出を求めています。たとえば、1年次生には「リスニング7割：リーディング3割」を目安に、**毎週最低でも6～8時間、通常は15時間以上の学習を要する課題**が出されます。

【1年次生：1週間の課題例】

Academic English

・教科書Lecture Ready 2 (OUP) に付随する教材(ビデオ講義)数編の内容理解と意見を問う問題(ハンドアウト形式)

・e-learningの追加課題

Interactive English

- ・TEDのプレゼン1回分の内容理解と意見を問う問題
- ・授業で行うプレゼンの準備
- ・各自のペースで進めるExtensive Reading

Career English (外部テスト対策科目)

TOEICの模擬テスト1回分(200問/2時間)を解き、各自の現時点でのスコアを把握した後、担当教員にメールで報告する。その後、次の授業で行われる復習テストに備えて、同じ模擬テスト(全パート)の重要事項(語彙・文法・表現等)をすべて理解し、覚えるべきことを覚える。

※授業では、毎回、集中的な学習を要する実践形式の模擬テストを行い、短期間で最大限のスコアアップを目指す。

■ 反転授業を導入し、毎授業でテスト

学習の主体は学生であり、授業(教員)の役割は、学習の方向性提示、成果確認、持続のためのサポートであることを徹底しています。毎授業で、課題内容に関する学生からの質問を受けた後、課題の確実な遂行と内容理解を確認するテストを行います。その後、補足説明や内容に関する意見交換等を英語で行います。(Career Englishのみ日本語も使用)

■ 長期休暇も休まない

入学からの2年間で、技術者・研究者の基盤となる英語能力を習得するには、1年の3分の1を占める長期休暇も休んではいられません。推薦図書の提示、リスニング・スピーキング学習サイトの利用推奨、e-learning、Extensive Reading/Writing等の課題により、**長期休暇中も4技能の持続的な訓練**を進めています。

2016年度後期 Academic English シラバス

学習目標

- (1) 大量のインプットを浴び、各種のリスニング/リーディング・アクティビティを行うことを通じて、与えられた情報を目的に応じて的確に処理する能力を養う。
- (2) 学術的な場面で英語を使うための基礎を固める。
- (3) 時事に関するニュースを聴いたり読んだりすることを通して、世界情勢や異文化に関する理解を深め、メディア・リテラシー(各種メディアから得た情報を社会的な文脈に置いて批判的に読み解く能力)を養う。
- (4) 各自の目標に向かって、自律的に英語学習を継続できるような習慣と学習法を身につける。

教科書

- (1) *Lecture Ready 2, Second Edition*, Peg Sarosy & Kathy Sherak, Oxford University Press, 2013
- (2) ハンドアウト

授業の進め方

- (1) 授業は受講生全員が指定された課題(予習)を完了していることを前提として進める。(課題をしていない場合は、授業についていけないし、授業に参加する意味はない。)
- (2) 毎授業の最初に、前回の授業内容の理解を確認するテストを行なう。
- (3) 原則として、授業は英語で進める。英語での授業についていけない部分がある場合は、各受講生の(日本語を介した)予習・復習で補う。

主な課題

Lecture Ready 2 の指定されたパート、および、時事問題等に関する問題に答えること
各課題は指定された期日までに提出すること。期日を過ぎた課題は受理しない。

評価基準

- (1) 毎授業で行うテスト(各章終了後の単語・熟語テストを含む) [50%]
- (2) 課題 [30%]
- (3) e-learning の追加課題 [20%]
- (4) 英語科目の取り決めに基づき、4回欠席した時点で受講資格を失う。

シラバス例

Summer Holiday Assignment

The summer holidays are a great opportunity for you to study. You have 8 weeks to fill! To help you to keep improving your English skills, we have put together a programme for you to use. It covers all four skills. We have made a work record for you to record all of your work and we will collect them after the summer to check.

Listening - We have chosen 3 websites for you to practice your listening skills. Choose one every day and do some of the activities for 20 minutes.

<http://esl-lab.com>

<http://www.bbc.co.uk/worldservice/learningenglish/>

<http://learnenglish.britishcouncil.org/en/>

■ 定期的な上達度評価

入学時と前期・後期終了時にはTOEIC IPテスト(団体実施)を、1年次終了時には本学が独自に開発したコンピュータ方式(CBT)スピーキングテストを実施するため、学生には**自らの目標を目指して集中的かつ継続的に学習を進める**ことが求められます。スコアは学生自身が上達度を客観的に評価するとともに、プログラムの成果を検証する資料としても利用しています。



学生はなぜ、highly demanding program に立ち向かうのか？

■ 徹底した意識教育

英語を教えるのではなく、**賢明な英語学習者を育てる**ことを目標に、入学時のオリエンテーションや導入科目「工芸科学基礎」等において、世界の英語使用の実態(超中心性と問題点)、リンガフランカ(共通語)として英語を学ぶ心構え、キャリア形成における英語の重要性、第二言語習得のメカニズム(インプットやインタラクションの重要性)等への理解を深めています。授業においても、学生のメタ認知能力や英語使用拡大の社会的意義、自己との関わりに関する意識向上を図っています。



■ 課題・テストの効果的配列

「大量に読んで聴く」ことに主眼を置く科目の課題やテストは、インプットのtop-down processing(「意味」に注意を払う言語処理)を促す問題を、「**英語は英語で理解できる**」という実感が得られるように配列しています。最低限に抑えているbottom-up processing(文法、語彙等の「言語形式」への注意を促す)活動も、できるかぎり英語で行います。

※外部テスト対策を目的とするCareer Englishでは、課題に取り組んだ成果がそのまま翌週のテストに反映されます(テストの所要時間は30-50分)。

2. Traditionally, what type of things were women responsible for buying?

3. Traditionally, what type of things were men responsible for buying?

Women	Men
- want to create a _____	- _____ things.
- focus on _____ of family.	- want things that _____
II	and don't need _____ or _____
* _____ *	- concerned with _____ of purchases.
e.g. food, shoes, _____	- make decision about * _____ items.
- purchases for _____ needs of family	e.g. cars, fridges, TVs.
	- focus on * _____ *

課題ハンドアウト配列例

■ 継続的な学習状況の管理

各学生に月別の「スタディーレコード」を配布し、4技能や語彙・文法等の学習に費やした時間を毎日記録し、毎月末に提出することを求めています。「スタディーレコード」には、各技能の学習時間の累計を示す棒グラフがあり、**学生は随時、各自の学習状況や技能ごとの学習時間の偏りを確認**できます。教員も各学生の学習時間の推移やクラスごとの平均学習時間を把握でき、指導に役立っています。

氏名	4月	5月
	L S R W 語彙・文法その他	平均/22日 L S
ZZZZZ	1095 0 120 525 0	79.1 840 0
ZZZZZ	520 40 610 20 20	57.7 1290 120
ZZZZZ	280 130 535 170 45	52.7 475 70
ZZZZZ	350 0 140 160 60	32.3 550 0
ZZZZZ	120 0 120 0 120	19.4 380 0
ZZZZZ	150 0 125 120 0	18 250 0
ZZZZZ	330 20 480 210 2040	140 240 0
ZZZZZ	240 100 60 0 0	18.2 660 130
ZZZZZ	330 210 90 570 0	54.5 420 330
ZZZZZ	2100 0 60 60 0	100.9 2100 0
ZZZZZ	390 0 345 240 0	44.3 720 0
ZZZZZ	345 10 250 60 75	36.4 485 10
ZZZZZ	535 10 280 55 10	40.5 490 0
ZZZZZ	320 20 150 0 0	35.9 300 0



スタディーレコード集計表

■ 課題・テスト・学習記録への迅速丁寧な対応

教員は毎週、膨大な量の課題・テストの採点を、月末にはスタディーレコードの確認をすることになりますが、「**温かいフィードバックを速攻で**」を合言葉に、翌週の授業で必ず返却しています。その際には、各学生の努力や上達を讃え、問題点を指摘するコメント(個人的な激励)を添えています。

Student's Comment (Written on July 1st)
I listened to English News on my way to school every day. I felt that my listening ability got better day by day. However, I spent less time on the other activities. I'll try much harder in the next month!
You've been working pretty hard. It's really a good idea to make use of your commuting time. You could also begin practicing speaking using the Skype site I recommended.

Student's Comment (Written on July 1st)

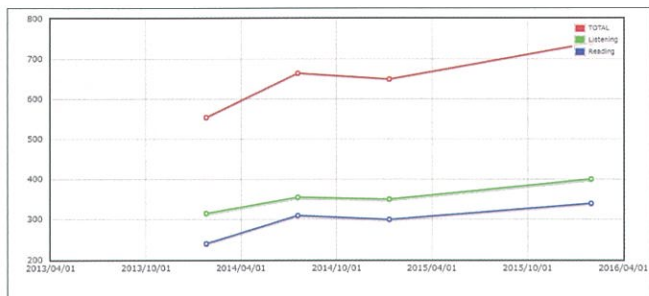
I listened to English News on my way to school every day. I felt that my listening ability got better day by day. However, I spent less time on the other activities. I'll try much harder in the next month!

You've been working pretty hard. It's really a good idea to make use of your commuting time. You could also begin practicing speaking using the Skype site I recommended.

スタディーレコードへのフィードバック例

■「TOEICスコア分析管理システム」の活用

学生の成績等を管理する総合型ポートフォリオシステム内に「TOEICスコア分析管理システム」を構築して、全学生のTOEICスコアをデータベース化しています。各学生は、学生ポータル「TOEICスコア取得状況閲覧機能」を使って、自分のTOEICスコアの推移や所属課程内の順位、全学・課程のスコア分布を確認できます。各学生が自らの英語力を客観的かつ相対的に把握することにより、過去の学修状況を振り返り、充実した学習計画を立てられます。また、英語教員を含む大学の関係スタッフは、各種の検索機能を用いて、全学、各課程、個々の学生の学習成果を時系列で確認できます。



TOEICスコアの推移

京都工芸繊維大学 学務課

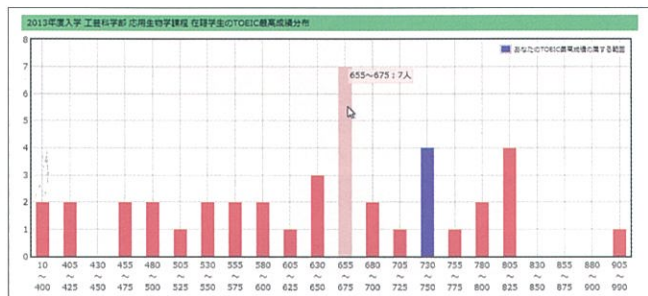
TOEIC成績

TOEICの取得状況

受験回数	4
TOTAL	740
Listening	400
Reading	340
試験日	2016/01/31
試験名	第207回TOEICテスト

TOEICの受験履歴

試験日	試験名	試験場所	Listening	Reading	TOTAL
2014/01/25	H25年度第2回KIT産出TOEIC IPテスト	学内	315	240	555
2014/07/19	H26年度第2回KIT産出TOEIC IPテスト	学内	355	310	665
2015/01/10	H26年度第1回大学主催TOEIC一斉受験	学内	350	300	650
2016/01/31	第207回TOEICテスト	学外	400	340	740



所属課程内の順位、全学・課程のスコア分布

■ 学内の雰囲気醸成

プレゼン、工学英語、TOEIC指導などの専門家を招いたセミナー、海外研修や外部テストによる単位認定制度、e-learning、Extensive Reading等を有機的に統合した「KIT英語学習サポートシステム」によって個々の学生の自学自習を支援するとともに、各行事の内容や成果を英語科HP・SGU通信・全学向けメール等で積極的に広報することにより、「英語は重要」「勉強せねば!」という雰囲気を学内に醸成しています。

「英語銀上げプログラム」実施中!

◆グローバル化が進む今日、英語ができるerできないerによって、通学や就職などみなさんの進路が大きく左右されます。

1. 本学の博士前期(修士)課程の入学試験では、多くの専攻で「外国語(英語)」の筆記試験に代えてTOEICスコアを採用しています。

2. 多くの企業が、TOEICスコアを採用・昇進要件や選考の参考としています。

採用要件	昇進要件
900以上 パナソニック(国際広報担当)	
850以上 野村ホールディングス(グローバル型社員)	
850以上 NTTコミュニケーションズ	
800以上 住友不動産、野村不動産	日立製作所(経営幹部)、KDDI(事務・技術職の配属、異動)、サイバーエージェント(海外部門)
750以上	楽天(上級管理職・部長職)
730以上 ソフトバンク、武田薬品	日本IBM(次長)
700以上 NTT東日本、ファーストリテイリング	シャープ(課長職)、ファーストリテイリング(本部管理職)
三菱電機、ヤマト運輸、プリズトン	キリンビール(事務・技術職の配属、異動)、楽天(課長職)
東京電力、三菱自動車(事務職)	
650以上 アサヒビール、シチズンホールディングス	日立製作所(課長)、ソニー(係長級・課長級)、プリズトン(開発企画職上級)、楽天(係長職)
佐川グローバルロジスティクス	
600以上 出光興産、王子製紙、大正製薬	住友林業(係長)、マツダ(課長職)、トヨタ自動車(係長)、日本IBM(課長)
大和ハウス工業、ニトリホールディングス	富士通(エンジニア・事業企画担当)、NEC(金社員)、富士通(入社2年目社員)
	日立製作所(総合職2年目社員)、横浜ゴム(金社員)、日本ビクター(金社員)、楽天(一般職金社員)

(http://uguluku.kit.ac.jp/toeic/hope_level.html より抜粋)

SGU通信

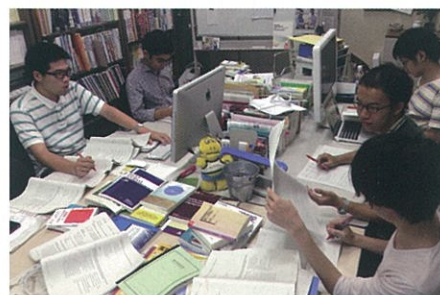
教員はなぜ、highly demanding program を維持できるのか?

■ 専任教員の連携による授業運営のシステム化

学生にとってシンドイ授業は教員にとってもシンドイものです。毎回の授業のために行う課題用ハンドアウトやテストの作成・採点には膨大な時間と労力を要します。各教員にかかるこのような負担を極力抑えるために、専任教員が連携してハンドアウトやテストの作成を行い、独自の補助教材を共有しています。また、必修科目については授業運営をシステム化する(教科書や授業内容、課題やテストの実施順などを統一すること)により、非常勤講師の負担軽減を図りながら、クラスを横断した授業の均質化を図っています。

■ 優秀なTAの育成と活用

毎週必要となる大量の課題の採点は大学院生のTA(英語圏からの留学生や学部の授業で卓越した英語能力を習得した学生)に依頼しています。TAにはそのつど、課題教材の内容理解を求め、問題の趣旨を説明するため、TA自身の英語学習意欲がさらに高まることも多く、各院生が所属する研究室全体の英語学習意欲向上にも役立っています。修士は2年、博士は5年とTAの仕事を続ける院生が多く、英語のできる学生が学年や専門分野を超えて交流することにより大学全体に好影響を与えています。



「英語鍛え上げプログラム」の成果

学習時間の相対的増加

年間の学習時間が1,000時間を超える学生も！

学生全般の英語学習に関する意識向上

TOEIC受験者・単位認定者、海外研修参加希望者、英語関連の各種セミナー参加者等の増加

TOEICスコアの上昇

課程によっては、大学院進学者の半数以上がスコア800を超える年も！2016年度入学生の入学時のTOEICスコア平均(492.6)が、9月末には521.7に上昇。1年次生受験者609名のうち113名(18.6%)が630を、33名(5.4%)が730を突破しました。

「学生授業評価アンケート」より

死ぬほど勉強させられました。一生のうちに自分が英語をここまで勉強するなんて絶対思えなかったんで、この授業にあたって本当に良かったです。

最初は毎回の宿題とテストが嫌で仕方なかったが、しんどいながらもがんばっていたら、英語ニュースが聞き取りやすくなって感動した。しんどかったけど、やる価値あり！

授業時間を有効に使っていたので、集中力を欠くことなく臨めました。先生の私たちに対する「頑張って！」という熱意がとても伝わってきて嬉しかったし、私も頑張ろうと思えました。

とりあえず授業をこなしているという感じではなく、私たちに英語を使えるようになってほしいという気持ちで教えてくださるのが伝わりました。一年間通して力が本当についたと思います。



大変だったけど、毎週やりきった後はすごく達成感があった。この授業を受けていなかったら、英語をここまで真剣にやらなかったと思うし、ここまで聞き取れるようになっていなかったと思う。

TOEICを受験しましたが、以前と違い、問題に食らいつけるようになりました。成長できたと思います。

ハイレベルで情け容赦なかったので、怠けることなく最後まで全力で取り組みました。

毎週の「鬼畜な」課題や宿題ありがとうございました。しっかり英語力がついた気がします。

今後の課題

<他科目(主に専門科目)との両立に苦しむ学生への配慮>

学生の希望に応じて時期や手段を選べるサポート体制を充実させる。

<アウトプットやインターアクションを増やす工夫>

「TOEICは900以上、スピーキングは英検3級レベル」を自認する学生もいるなど、リーディング・リスニング能力と外部テストのスコアは伸びたが、スピーキング能力の伸びは遅れがちとなっている。

<専任教員の負担軽減>

教員の手間を惜しまない職人的な仕事プログラムを支えているが、今後教員の負担軽減のために、授業運営に関わる各種作業の体系化やICT活用をさらに進める必要がある。

<非常勤講師との連携強化>

英語関連クラスの60%以上を担当する非常勤講師とより綿密な情報交換をすることにより、理念の共有や指導法の向上を図る必要がある。

<入試・院試の改革>

発信力と4技能の均衡育成を図るために、スピーキングおよびライティングテストを導入する必要がある。

KIT Speaking Test: English for the 21st Century

Test of English as a Lingua Franca

本学は、平成 26 年度から、4 技能(聞く・話す・読む・書く)の円滑な発達を保障することを目指し、独自に開発したコンピュータ方式の英語スピーキングテストを定期的実施しています。これは、ネイティブスピーカーの英語を絶対的な手本として、その手本にどれだけ近づいたかを測るテストではありません。間違いを恐れることなく、使える語彙や文法をクリエイティブに使う、与えられた課題を達成する能力を測るテストです。グローバル社会で求められる「話の中身で勝負できる英語力」「伝える英語力」を学生に習得してもらうために、学内で定期実施するとともに、平成 30 年度(29 年 12 月実施分)よりダビンチ(AO)入試にも導入することになっています。

コンピュータ方式 (CBT) のスピーキングテストとは？



モニターとヘッドセットを介して、映像と音声で出題され、ヘッドセットに装着されたマイクを通して回答します。写真を見て答える問題や、会話を聞いて内容に関する質問に答える問題などがあります。

【KIT Speaking Test の特徴】

- リンガフランカとしての英語運用能力を測る
- 21 世紀型スキルを要する問題項目
- 望まれる波及効果を得るためのテストデザイン
- 受験者の特質やニーズを考慮したテラーメイド
- 大学が CBT(実施・採点システム)を開発
- 心理統計研究者による統計的検証
- 透明性(内部情報の公開)



何のためのテストか？(テストの目的)

1. グローバル社会で活躍するために求められる口頭の英語運用能力の習得度を測定します。
2. 学生たちが英語を学び・使う際の姿勢に正の波及効果をもたらすよう、テストを介して、以下のメッセージを発信します。
 - ▶スピーキングは日常会話に限定されるものではなく、現代社会では欠くことのできないシリアスなコミュニケーションモードである。
 - ▶学生たちは言語発達のどの段階においても、ネイティブスピーカーとも対等なリンガフランカとしての英語ユーザーであり、コミュニケーションをする際に、ネイティブスピーカーの発音、文法、言い回し、文化的習慣などを規範にする必要はない。自信を持ち、使いうる言語材料を駆使して、伝えるべきことを確実に伝えることが最も重要である。
 - ▶口頭のインタラクションでは、即時に発話することを求められるので、意識的な準備をせずに発話することに慣れておかなければならない。
3. 大学および大学院入試への英語スピーキングテスト導入に向けた実現可能性を検証する。



Learner < User
Accuracy < Communication
Error Avoidance < Communication strategy



Be a creative and confident user of English!

何を測るテストか？(テストの構成概念)

リンガフランカ(共通語)として英語を使い、21世紀型スキルを駆使して、タスクを達成する能力を測定します

→従来のスピーキングテストでは、ネイティブスピーカーの英語を習得の規範として、学習者の発する言語が音韻・形態・統語等の面で、その規範にどれだけ近づいているかが評価されます。しかし、英語が世界各地で多様化するとともに、リンガフランカとしてノン・ネイティブスピーカー同士で使われることが多くなった今、学習者の英語をネイティブスピーカーの英語に照らして評価することの妥当性は揺らいでいます。京都工芸繊維大学の研究開発チームは、**いかなる規範にも依拠せず、学習者が発する言語の効果・効力を評価観点とするスピーキングテスト**の開発に取り組んでいます。

学生配布用のテスト紹介資料より

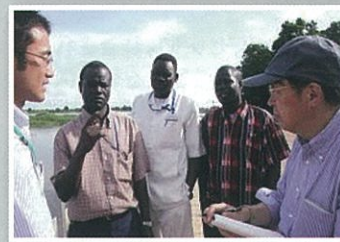
何が試されるか？

・「リンガフランカ(共通語)としての英語」を使いこなす能力

多様な英語がノン・ネイティブスピーカー同士で用いられることが多くなった今、ネイティブスピーカーの英語を手本にする必要はありません。細かい発音を気にしたり、文法の間違いを恐れたりすることなく、伝えたいことを伝え、達成すべき課題(タスク)を達成する能力が試されます。リンガフランカとしての英語ユーザーであることを自負して、**手持ちの語彙や文法を駆使して堂々と自己表現しましょう。**

・「21世紀型スキル」を発揮してタスクを達成する能力

マニュアルどおりに働くことや定型的なスキルを使いこなすことは機械にもできます。21世紀のグローバル社会で求められるのは、創造力、批判的思考力、問題発見・解決力、意思決定力など、既成の知識や概念を拡張したり革新したりする能力です。これらのスキルを駆使して、与えられたタスクを効果的に達成する能力が評価されます。**大事なのは話の中身です！**



リンガフランカとしての英語 (English as a Lingua Franca) の理念を基盤に

コンピュータ方式のテストでありながら、テストの目的、構成概念(何を測るか)、タスクタイプ(問題項目)、評価基準、評価者、評価方法などには、リンガフランカとしての英語(ELF)の理念が通底しています。

回答を引き出すプロンプトとして使われる会話音声においても、ノン・ネイティブスピーカーとネイティブスピーカーが対等な ELF ユーザーとして対話しています。また、録音にも、ネイティブスピーカーとノン・ネイティブスピーカー(日本語および他言語の話者)が参加しています。



スピーキングテストの構成

スピーキングテストは、3つのパート、全9問から構成され、45秒で回答する問題と60秒で回答する問題があります。

問題番号	テーマ	プロンプト	リハーサル(秒)	回答(秒)	21 st century skills: Learners should ... 試される21世紀型スキル	Spoken language proficiency: Learners should ... 試される言語能力
1	Imagine 想像する	Photo 写真	0	45	think creatively and demonstrate originality 創造的に考え、独創性を発揮する	speak coherently and clearly 筋道を立てて明確に話す
2						
3	Compare 比べる	Two photos 2枚の写真	0	45	analyse alternatives and draw reasonable conclusion 選択肢の特徴を見きわめ、合理的な結論を下す	compare, decide and justify 比較し、決断し、理由を述べる
4	Identify different values 価値観の違いを見きわめる	Audio dialogue & photos 会話音声と写真	0	45	understand diverse values and perspectives 多様な価値観や見方を理解する	summarise and contrast different points of view 異なる意見を要約し、対比する
5	Take position 立場を定める		0	60	evaluate arguments and decide own position 対立する意見を客観的に評価し、自らの立場を定める	state and justify own position 自らの立場を明らかにして、正当化する
6	Identify problem 問題を見える	Audio dialogue & photos 会話音声と写真	0	45	interpret information to identify problem 情報を適切に解釈して、問題点を見きわめる	describe problem 問題点を説明する
7	Problem solving 問題を解決する		0	60	find solution to problem 問題の解決法を見いだす	propose solution to problem 問題の解決法を提案する
8	Plan and organise 立案する、企画する	Nil なし	60	60	identify and organize component parts to make a plan 目標達成に必要な作業や手順を見きわめ、計画を立てる	suggest a plan and series of steps to achieve goal 目標達成に向けた道筋や手順を提案する
9	Persuade 説得する	Nil なし	60	60	promote and influence 奨励して、他者を動かす	persuade by presenting a positive image and message 肯定的なイメージやメッセージを伝えて、他者を説得する

評価基準 (2016年9月現在)

すべての問題について、**話の内容** (21世紀型スキルを発揮して求められたタスクを効果的に達成できるか)と、**話しぶり** (与えられた時間を有効に使い、自信を持って分かりやすく伝えることができるか)が、**8対2の割合で評価**されます。受験者には、**用いることのできる語彙や文法を駆使して、伝えたいことを堂々と伝えきることが求められます。**

Score rating	Task achievement (80% weighting)	Task delivery (20% weighting)
5	The task is achieved, being developed with a satisfactory level of detail.	The delivery is mostly confident and fully intelligible. The time is used well (i.e. the speaker keeps talking throughout the given time without unnatural pauses, hesitations, or repetitions).
4	The task is mostly achieved, with some supporting detail in places.	The delivery is intelligible most of the time, and the time is used quite well despite occasional pauses, hesitations, or repetitions.
3	The task is partially or minimally achieved, being supported with some basic detail.	The delivery is generally intelligible although the time is not effectively used because of slow delivery, unnatural hesitations, or repetitions.
2	The task is addressed, but there is no or very little supporting detail.	The delivery is only partly intelligible. The speaker keeps trying but frequently falters.
1	There are some relevant words, but the task remains essentially unachieved.	The delivery is unintelligible most of the time, or the speaker gives up trying.
0	There is no relevant contribution (e.g. content is entirely unconnected to topic).	The speaker does not start the task (e.g. s/he is silent, utters only fillers, or just says, 'I don't know').

採点者

すべての問題について、1つの音声回答につきネイティブスピーカーとELFユーザー(ノンネイティブスピーカー)が対等に採点します(100% 重複採点)。各問の各評価観点について、2人の採点者のスコアに2点以上の差が出た場合は、上級採点者が再採点を行います。

	第1回	第2回	第3回
実施日	2015/1/20-22	2015/12/19,20	2017/1/7, 8
回答数	9問 × 受験者670名 = 6,030回答	9問 × 受験者713名 = 6,417回答	9問 × 受験者727名 = 6,543回答
採点者	ネイティブスピーカー 7名 ELFユーザー(日本語話者) 7名	ネイティブスピーカー 9名 ELFユーザー (フィリピン在住) 9名	ネイティブスピーカー 9名 ELFユーザー (フィリピン在住) 9名
採点方式	1人の採点者が、均等に配分されたテストの9問すべてを採点	1人の採点者が1問のみを担当して、全テストを採点	1人の採点者が1問のみを担当して、全テストを採点

※ネイティブスピーカーと日本語話者は、本学の常勤・非常勤講師
フィリピン在住のELFユーザーはオンライン英会話レッスンの講師

Rating Data Group

Rating Data Group No: KIT201512-000001 | Status: Rating not completed | Rater ID: 123456789 | Rater Name: Toshiya Yonezawa

Version0001 : Question1

Question 2

Unique ID | Status | Voice Data | Proficiency | Task Achievement | Effort

10000001	Rated	▶ 0:00	5	5	5
10000002	Rated	▶ 0:00	4	4	4
10000003	Not Rated	▶ 0:00	...	...	...
10000004	Not Rated	▶ 0:00	...	...	...
10000005	Not Rated	▶ 0:00	...	...	...
10000006	Not Rated	▶ 0:00	...	...	...
10000007	Not Rated	▶ 0:00	...	...	...
10000008	Not Rated	▶ 0:00	...	...	...
10000009	Not Rated	▶ 0:00	...	...	...
10000010	Not Rated	▶ 0:00	...	...	...

Scoring rubric:

Score rating	Proficiency	Task Achievement	Effort
5	- communicates effectively - produces extended utterances using a range of grammar and vocabulary despite a possible lack of fluency or accuracy - demonstrates appropriate use of cohesive devices	- Task is achieved effectively. - Contributions are fully relevant but there may be some repetition.	- speaks confidently and willingly (generally calm and/or forceful, active, positive, engaged, enthusiastic, expressive, firm and assertive) - makes a big effort to use his/her language resources
4	- communicates successfully but may be limited by lack of fluency or accuracy - constructs utterances longer than short phrases using basic grammar and vocabulary only - demonstrates limited use of cohesive devices	- Task is achieved only partially or inadequately. - Contributions are mostly relevant.	- speaks with some confidence but is sometimes nervous, hesitant or unwilling - makes some effort to use his/her language resources
3	- often fails to communicate due to lack of fluency or accuracy - produces short utterances with words or phrases only - does not use cohesive devices	- Task is not achieved. - Contributions are mostly not relevant.	- lacks confidence and unengaged - makes little effort to use his/her language resources
2	- often fails to communicate due to lack of fluency or accuracy - produces short utterances with words or phrases only - does not use cohesive devices	- Task is not achieved. - Contributions are mostly not relevant.	- lacks confidence and unengaged - makes little effort to use his/her language resources
1	- often fails to communicate due to lack of fluency or accuracy - produces short utterances with words or phrases only - does not use cohesive devices	- Task is not achieved. - Contributions are mostly not relevant.	- lacks confidence and unengaged - makes little effort to use his/her language resources
0	does not communicate at all	No contribution at all	No effort at all
-	Indeterminable	Indeterminable	Indeterminable

Confirmed

サンプル問題

※文字と音声で出題され、Q.1-7では、即答が求められます。

Question 1



Imagine who the owner of these shoes is and why they are here. Talk for 45 seconds.



Question 2



Imagine what the relationship between these people is and why they are happy. Talk for 45 seconds.



Q.1、Q.2 では、正解のない問題に対応する柔軟な発想が求められます。
筋道を立てて、分かりやすく説明する能力も問われます。

Question 3



Luxury car



Economy car

Which of these cars would you prefer to have, a luxury car or an economy car? Compare the cars and explain your reasons. Talk for 45 seconds.



Q.3 では、選択肢の特徴を見きわめて、合理的な判断を下す能力が問われます。結論を明らかにするとともに、両者を比較し、説得力のある理由を述べるのが求められます。

Conversation 1

Susan and Kenji are graduating from university soon. They are talking about their future careers. Listen to the conversation. Then, answer Question 4 and Question 5.



Susan



Kenji

Conversation 1 を聴いた後で、
Q.4、Q.5 に答えます。

Question 4



How are Susan's and Kenji's opinions different? Talk for 45 seconds.



Q.4 では、異なる意見を相対的に理解する能力が問われます。両方の意見の要点を効果的に対比することが求められます。

Question 5



Which way of thinking do you support? Explain your position and give reasons. Talk for 1 minute.



Q.5 では、対立する意見を自らの価値観に基いて評価し、立場を表明することが求められます。例を用いて、主張に説得力を持たせるように指導しています。

Conversation 2

Bill is talking to Mariam about a problem concerning Judy, who is one of his laboratory members. Listen to the conversation. Then, answer **Question 6** and **Question 7**.



Bill



Mariam

Conversation 2 を聴いた後で、
Q.6、Q.7 に答えます。

Question 6



Bill



Mariam

What is the problem Bill is facing? Talk for 45 seconds.



Q.6 では、話者が抱えている問題を見きわめることが求められます。問題点を整理して、分かりやすく説明する能力も問われます。

※Q.8、Q.9では、回答の前に1分間のリハーサルタイムがあります。

Question 7



Bill



Mariam

If you were Bill, what would you do to solve the problem? Talk for 1 minute.



Q.7 では、困難な問題の解決法を見いだす能力が問われます。与えられた情報に基づいて、実現可能で成功率の高い解決法を提案することが求められます。

Question 8

You want to start a new volunteer group on campus to help homeless people. Explain how you would organize it.



Q.8 では、目標達成のために必要な作業や段取りを見きわめ、効果的な計画を立てる能力が問われます。企画の内容や手順を分かりやすく説明することも求められます。

Question 9

In an interview for a scholarship program, you are asked to explain why you should be selected. Talk about your personal achievements and strong points.



Q.9 では、特定の事柄について、肯定的なイメージやメッセージを伝えることにより、他者を説得したり動機づけたりする能力が問われます。積極的なアピールが必要となります。

テスト実施実績(2017年3月末時点)

回数 実施年度	実施日	受験者	使用テスト バージョン
第1回 (2014年度)	2015年 1月20~22日	1年次生 551名 アンカー 45名 延べ 686名	Ver. 1, 2, 3
第2回 (2015年度)	2015年 12月19,20日	1年次生 575名 アンカー 69名 延べ 713名	Ver. 4, 5
第3回 (2016年度)	2017年 1月7, 8日	1年次生 568名 アンカー 53名 延べ 727名	Ver. 6, 7, 8

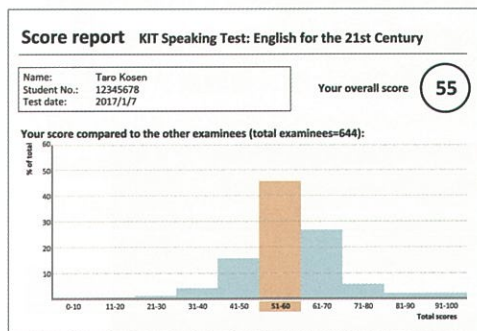
※アンカー:複数バージョンのテストのスコアを統計的に等化するために全バージョンを受ける受験者

望まれる波及効果を得るための試み

■テストの趣旨、受験の心構え、準備方法の周知を徹底しています

- ・新入生オリエンテーション、学務課HPでのテストの告知
- ・英語科HPでのテスト内容の紹介
- ・専任教員が必修科目の全クラスを訪問して説明
- ・「受験の心得」「日本語の解説付きサンプルテスト」の配布
- ・テスト紹介動画の公開

■スコアを Interactive English (インタラクション中心の必修科目)の成績に組み込んでいます



受験者用スコアシート

Your score breakdown:

Your scores	Task achievement (80% weighting)	Task delivery (20% weighting)
5	The task is achieved, being developed with a satisfactory level of detail.	The delivery is mostly confident and fully intelligible. The time is used well (i.e. the speaker keeps talking throughout the given time without unnatural pauses, hesitations, or repetitions).
4	The task is mostly achieved, with some supporting detail in places.	The delivery is intelligible most of the time, and the time is used quite well despite occasional pauses, hesitations, or repetitions.
3	The task is partially or minimally achieved, being supported with some basic detail.	The delivery is generally intelligible although the time is not effectively used because of slow delivery, unnatural hesitations, or repetitions.
2	The task is addressed, but there is no or very little supporting detail.	The delivery is only partly intelligible. The speaker keeps trying but frequently falters.
1	There are some relevant words, but the task remains essentially unachieved.	The delivery is unintelligible most of the time, or the speaker gives up trying.
0	There is no relevant contribution (e.g. content is entirely unconnected to topic).	The speaker does not start the task (e.g. s/he is silent, utters only fillers, or just says, 'I don't know').

KIT Speaking Test: English for the 21st Century

Part 1
Directions [Audio & Text]
In this part of the test, you will answer Question 1, Question 2 and Question 3. Each question is about the pictures on your screen. Please begin to talk after the beep. You will have 45 seconds to answer each question.

Question 1 [Audio, Text & Photo]
Imagine: who the owner of these shoes is and why they are here. Talk for 45 seconds.

Question 2 [Audio, Text & Photo]
Imagine: what the relationship between these people is and why they are happy. Talk for 45 seconds.

Question 3 [Audio, Text & Photos]
Which of these cars would you prefer to have, a luxury car or an economy car? Compare the car and explain your reasons.

紙バージョンの解説付きサンプルテスト
(動画バージョンもある)

今後の予定と研究課題

■予定

- ・2017年12月 ダビンチ(AO)入試への導入(予定)
- ・第4回(2017年度) 学部1年次生対象テスト実施(予定)
- ・2018年6月 博士前期課程推薦入学(3X3)特別入試への導入(検討中)

■課題

- ・ELFの運用能力を測るための評定基準、採点や採点者訓練の方法を確立し、テストの信頼性を高める
- ・受験者の学習意欲を喚起できるようなフィードバックを行う
- ・スピーキングテストと普段の指導・学習に明確な関連性を持たせる

大学入試への英語スピーキングテスト 導入プロジェクト

プロジェクト開始にあたって

KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

京都工芸繊維大学では、入試改革の一環として、新入生にスピーキングテストを導入し、英語力向上のための取り組みを行っています。本プロジェクトでは、スピーキングテストの導入に向けた調査・研究、教材開発、採点者訓練などを行っています。